

令和8年度病害虫発生予察注意報第1号

令和8年4月3日
三重県病害虫防除所

小麦の生育が早まっています。
ムギ類赤かび病が多発するリスクが高まっています。
必ず防除を2回以上行ってください。

1 対象作物:ムギ類

2 対象病害虫名:ムギ類赤かび病

3 発生地域:県内全域

4 発生時期:4月上旬以降

5 予想発生量:やや多

6 注意報発令の根拠

- (1)ムギ類は開花期以降、高温かつ降雨条件下でムギ類赤かび病菌に感染しやすくなります。
- (2)高温傾向により、昨年や平年に比べると出穂・開花はかなり早まっています。
11月上旬播種では3月下旬に出穂期を迎えた小麦ほ場が確認されており、3月24日に発表の技術情報で示した生育見込みより生育が早まっています。
- (3)三重県農業研究所(松阪市嬉野川北町)内に設置した県予察ほ場の「あやひかり」(11月14日播種)は、出穂期が3月28日であり、開花期は4月5日頃と予測されます(三重県農業研究所の麦生育予測システムによる)。
- (4)3月末に感染好適日が3日連続で発生し、週間天気予報によると4月以降も降雨日が数日予想されています。
※感染好適日とは、降雨があり、最高気温が20℃以上の日
- (5)1か月予報(3月26日、名古屋地方気象台発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い見込みです。

7 防除の注意事項

- (1)1回目の防除適期は開花始めから開花盛期です。必ず、1回目の防除後、7日から10日後に2回目の防除を行ってください。(参考:「[麦類のかび毒汚染予防・低減指針:農林水産省 \(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp/)」令和5年3月14日公表)。
- (2)薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤は連用せず、RACコードの異なる薬剤でローテーション散布をしてください。
- (3)薬剤は農薬情報検索システムで調べることができます。
農薬情報検索システム:<https://pesticide.maff.go.jp/>

8 かび毒について

赤かび病の病原菌は、かび毒を産生させることがあります。かび毒であるデオキシニバレノールの基準値を超えた麦は食用として流通することができません。

詳細は、農林水産省ホームページ「[麦類のかび毒汚染予防・低減指針：農林水産省 \(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)」(令和5年3月14日公表)を参照ください。



赤かび病発病穂

9 問い合わせ先 三重県病害虫防除所 電話：0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください

予報発行時のeメール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら↓

